文字が娘奪った

長時間LINE 友情ひび

全国の自殺者数が減る中で、未成年の自殺だけが昨年、増加した。若者が人生に希望を失い、命を絶ってしまう背景には何があるのだろうか。遺族や自殺未遂者の証言から、若者が現代社会のはざまで追い込まれていく様相を探り、対策を考える。〈関連記事1面〉

命の葛藤

出口なき若者 1

〈今、バスの中ですよ〜〉。2013年秋の夕刻、西日本の女子大1年だった舞さん（仮名、当時18歳）から母親(56)にメールが届いた。いつもの帰宅連絡だったのに、その1時間後、舞さんは自ら命を絶ち、家に帰ることはなかった。

あの朝、舞さんは「帰ったら縫い物をするから、ミシンを用意しておいて」と言って家を出た。前日には母親と一緒に買い物に行き、バスの通学用定期券を購入した。ふだん通りの日常のはずだった。

何があったのか。舞さんのスマートフォンに残っていたLINE（ライン）の記録や、大学の両親への回答文書から、一端が判明している。

■

入学後、舞さんは10人ほどの友人グループに入った。一方で、ある同級生から必要以上に頼られるなどして困惑していた。グループの友人たちから「付き合わない方がいい」と助言されたが、気だての優しい舞さんは関係を断つことができず、悩みを深めていた。

夏休みが明けた日、舞さんはとうとう同級生と言い争いになり、涙を流した。グループの仲間は味方をしてくれ、LINEでも〈大丈夫？〉などといたわってくれた。

3日後も、舞さんはグループの一人とLINEを交わした。〈（同級生と）ちゃんと話をつける〉〈みんなを振り回して申し訳ない〉と繰り返すと、〈見守ってる〉と励ましが返ってきていたが、やり取りが2時間以上続いた後、突然、友人の態度が変わる。

舞さんが〈明日から一緒にいてね〉と頼むと、〈しんどいし、もう友達やめよう。めんどうくさい〉と突き放された。〈本当にごめんなさい〉と何度も懇願したが、途中で着信を拒否された。

翌日の授業の合間、舞さんはグループの友人らに「これからも仲良くして」と直接頼み、おそろいのアクセサリーを配った。帰宅を知らせるメールを母親に送信後、バスの中で、前日とは別のメンバーの一人に対し、〈今日は話を聞いてくれてありがと。これからもよろしく〉とLINEで送っている。

だが返事は冷たかった。

〈よろしくしないとだめ？（同級生と）仲良くするのなら必要ない〉

舞さん〈（同級生と）絶対関わらない〉

友人〈友達いないから、こっちに来たんでしょ？〉

舞さん〈みんなと接したかった〉

友人〈行動を直せよ〉

舞さん〈直したら仲良くしてくれますか〉

友人〈甘いよ。もう嫌〉

30分間のやり取りの最後に、舞さんは〈はい〉と短い答えを返している。バスを降りて自宅マンションに着いたが、そのまま屋上に上がり、身を投げた。

■

それから5年近くたった今も、両親は「なぜ突然に」との思いをぬぐえない。

周囲への気配りを絶やさない子だった。人間関係に苦悩を深め、LINEの世界で急速に追い込まれてしまったのだろうか。詳しい経緯が知りたくて、両親は弁護士を通じて友人らに手紙を書いたが、保護者側から「本人のショックが大きい」などと返答され、あきらめ娘が死ぬとは思ってはいなかったのでしょう」。父親(60)は無念さを押し殺すように語った。

母親は訴える。「スマホの文字は表情も見えず、冷たく心に突き刺さる。娘のような悲劇が起きないためにも、その怖さを知ってほしいんです」

◇

ご意見・ご感想をお寄せください。宛先は〒100・8055読売新聞東京本社社会部（FAX03・3217・8363、shakai@yomiuri.com）

▲「一緒にこの公園をよく散歩したんです」。遺品のスマートフォンを手に、母親は亡き娘を思う＝鈴木毅彦撮影

読み返し傷深まる

専門家によると、若者は限られた友人との狭い人間関係で生きている場合が多く、拒絶されれば自らの存在を否定されたように思い込みがちだ。

特に場所や時間を問わずつながるLINEなどSNSでは視野が狭まり、心の余裕もなくなることがある。子供のネット問題に詳しい竹内和雄・兵庫県立大准教授は「文字が画面に残り、受け取る側は何度も読み返せる。それは傷つく言葉を何十回も繰り返されるのと同じ。文字だけのやり取りのリスクを教える必要がある」と指摘している。

無料相談窓口の例

●インターネット上の人権侵害
法務省「みんなの人権110番」
☎0570-003-110
平日午前8時30分〜午後5時15分

●人間関係の悩みや死にたい気持ち
東京自殺防止センター
☎03-5286-9090
午後8時〜翌朝午前6時、火曜日のみ午後5時〜

大阪自殺防止センター
☎06-6260-4343
金曜日午後1時〜日曜日午後10時

刀剣・小道具　目白　飯田高遠堂
創業明治13年
販売・買入・無料評価鑑定　☎03(3951)3312
水曜・土曜・祝日定休　〒161-0033　東京都新宿区下落合3-17-33
www.iidakoendo.com〈JR山手線目白駅下車徒歩左へ3分〉